

## 論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※	第	号
------	---	---	---

氏 名 GREGORIUS PRASETYO ADHITAMA

論 文 題 目 Study on the Relation  
between Corporate Architectural Design (CorpAD)  
and Place Characters in Indonesia  
(インドネシア企業の自社建築設計基準と場所の固有性の  
関係に関する研究)

### 論文審査担当者

主査 名古屋大学大学院環境学研究科 准教授 小松 尚

委員 名古屋大学大学院環境学研究科 教授 片木 篤

委員 名古屋大学大学院環境学研究科 教授 清水 裕之

## 論文審査の結果の要旨

別紙 1 - 2

本論文は、インドネシア企業が定めた自社建築の設計基準（Corporate Architectural Design Standard 以下 CorpAD）に関して、①その設計基準の内容構成と実際の設計への適用実態と、②CorpAD が適用された対象建物付近における滞在者の印象と行動実態との関係を分析し、CorpAD の開発・適用に際して考慮すべき点とともに、CorpAD が適用された対象建物を含む場所の固有性の対応状況について研究したものである。

論文は 8 章からなる。第 1 章では研究の背景と目的、方法を設定し、第 2 章では既往研究のレビューに基づき、CorpAD とその企業の自社建築が立地する場所の固有性との関係を分析する学術研究上の意義と独自性を明らかにした。

第 3 章では 12 社の CorpAD の内容を分析し、12 の要素 (elements) と 4 つの方針 (considerations) を抽出した。次に、自社建築の存在が場所の固有性に対して及ぼし得る影響への対処方法として、4 つの方針の中の一つである柔軟性 (flexibility) の内容に注目して分析した結果、自社建築と周辺との建築的調和を実現しようとするために、ロゴや材料・色などだけでなく空間構成の要素についても、対象建物および周辺が有する場所の固有性に柔軟に対応することを求める CorpAD が存在することを明らかにした。そこで第 4 章では、上記の要素と方針を最も包括的に取り込み、場所の固有性への柔軟な対応を求める CorpAD を策定した 1 社（郵便会社）を取り上げ、この CorpAD を適用して完成した 3 事例を分析した。3 事例のうち、2 事例は都市部の歴史的保全地区に立つ既存建物の改修事例であり、残りは商業地区に立つ新築建物である。分析結果として、3 事例とも建物の外部よりも内部において CorpAD の適用比率が高いが、歴史的保全地区に立地する既存建物の改修事例に比べて、商業地に立つ改修事例の方が CorpAD の適用比率が高いことがわかった。このように、自社建築および周辺の場所の固有性を尊重しようとする企業の柔軟な対応（上記の柔軟性）に関する方針を組み込んだ CorpAD が、設計対象の建物およびその周辺が有する空間特性を考慮に入れながら適用されている実態を明らかにした。

第 5～6 章では、上記 3 事例の建物周辺に滞在した人々の各事例に対する印象と行動実態を分析した。第 5 章では CorpAD を適用して完成した建物および周辺を包括的に捉えた印象評価のアンケート調査を実施し、分析した。いずれの事例でも概ね肯定的な評価を得たが、その評価の傾向は各事例の立地状況との関係から異なることを明らかにした。第 6 章では対象建物の内部および周辺で観察された滞在者の行動実態について、そのタイプ分析とともに CorpAD の影響と企業の運営方針の両面から分析した。一般的な公共空間で見られるような多様な行動タイプが確認できたとともに、企業所有の敷地や建物でありながらも多様なタイプの行動を許容する運営上の対応がなされていることを明らかにした。

第 7 章では第 3～6 章で行われた個別テーマの分析結果を総合的に分析し、第 8 章では本研究の結論を示すとともに今後の研究課題を示した。

包括的かつ柔軟に建築デザインを決定することを求める CorpAD の内容構成と適用実態を明らかにするとともに、この CorpAD が適用された比較的優良な既存建物の改修デザインおよび新築建物のデザインと場所の固有性の対応状況を空間的視点から明らかにした本研究の成果は、急速な経済発展が今後見込まれる発展途上国における建築・都市デザインに対して多くの示唆を与えるものであり、学術上、建築学上寄与するところは大きい。よって、本論文の提出者である G.P.ADHITAMA 氏は博士（建築学）の学位を授与される資格があるものと判定した。